

2024年7月30日
四国旅客鉄道株式会社
有限会社ひらやま

サーモンの陸上養殖事業へ新規参入 ～熊本県八代市にてトライアル事業開始～

四国旅客鉄道株式会社では、「非鉄道事業における最大限の収益拡大」を重点実施項目にしており、既存事業の市況悪化、環境悪化に左右されない新しい領域へのチャレンジとして新規事業の創造に取り組んでいます。

このたび、有限会社ひらやま(代表取締役：平山 正、以下「ひらやま」と協業し、熊本県八代市において、「サーモン」の陸上養殖のトライアル事業を開始しますのでお知らせします。このトライアル事業は、四国内でサーモンの陸上養殖に取り組む前段として、熊本県八代市にある、ひらやま用地内に当社が購入した陸上養殖システムを設置し、ひらやま指導の下、飼育、出荷及び販売等のノウハウを学んでいくものです。

なお、JR四国グループで、農業、水産業等の一次産業における事業化は初めてとなります。

■当社参入の背景

現在、水産業においては、気候変動等に伴う海洋環境の変化等により、急激な漁獲量の減少やこれまで獲れていた魚が獲れなくなる等、様々な影響が見られています。これらに対応するため、近年、陸上養殖が注目され、大手企業等の参入も見られているところです。

2022年10月に実施した新規事業のアイデア募集(「新時代」創造プロジェクト)において、『小型閉鎖循環式陸上養殖システムのアクアポニックス事業で水産業の課題解決に立ち上がる!』が受賞し、水産業の課題についてヒヤリングしている際に、ひらやまと出会い、事業内容やその取り組み実績等を聞き取りしていくなかで、事業の可能性を見出しました。

全国的にご当地養殖サーモンがブームであり、四国においても既にサーモンの養殖は行われておりますが、当社も陸上養殖に参入し、四国地域において安全で美味しいブランドサーモンを作り、全国や世界に広めたいと考え、事業化を進めていくこととしました。

■トライアル事業を実施する理由とその概要

ひらやまが開発する陸上養殖システムは、地下水を必要とする「かけ流し」式の陸上養殖です。従って、四国内で実施するには、水量、水質等の面で適した環境の場所を見つける必要があり、開始には時間がかかることが想定されました。一方では、そもそも当社に水産養殖のノウハウがないこともあり、既にサーモンの陸上養殖を成功させている熊本県八代市においてトライアルを実施することにしました。

トライアル事業としては、陸上養殖システム6基を当社にて購入し、ひらやま敷地内に設置します。日々のオペレーションをひらやまに委託し、年間約6～8トンのサーモンの出荷を目指します。当社としては、画像データ等による生育状況の確認や水質、水温等の管理が

メインとなりますが、度々現地を訪問し、養殖ノウハウを身に着け、四国内での養殖の準備を整えます。

■今後の事業の方向性

トライアル事業を進めながら、四国各地での展開を目指していきます。今年度中には、四国内にて養殖事業を開始したいと考えていますので、決定次第お知らせします。

■スケジュール

8月下旬頃 竣工祭・放流祭(中間魚の放流となります)
12月末頃 初収穫

(参考)

有限会社ひらやま 会社概要

会社名 : 有限会社ひらやま
所在地 : 熊本県八代市鏡町内田 1543-1
設立 : 1997年10月
代表者 : 代表取締役 平山 正
資本金 : 400万円
事業内容 : 陸上養殖事業、農業機械事業、パッケージ事業 等
URL : <https://www.kumamoto-hirayama.com/>

ひらやま式陸上養殖システムとは

ひらやまが開発している陸上養殖システムを「ひらやま式陸上養殖システム」と呼び、大手が行う巨大な事業とは異なり、投資額を抑え、地下水、設置スペース、電気等があれば養殖を始めることが可能なシステムです。天然地下水で育てるため、赤潮の被害もなく虫も入らず安心して安全な、かつ臭みのない美味しいサーモンを作ることが可能です。

熊本県八代市の養殖場



桃太郎サーモン

ひらやま式陸上養殖システムで育ったサーモンは桃太郎サーモンとして九州の地元飲食店、大手スーパーや大手外資系ホテルなどでも取り扱われています。なお、当社が販売する際の商品名は別途検討中です。

